

当の意味で、口の交渉は、
自分の満足になってしまって
しまいますし、特定の人々に
利益に絡まないようになると均衡が難しいです。ナ

中川：先生には充分力量があると思います。しかし残念ながら、日口会のことは一般に、あまり知られてないです。

するかどうか、迷います。
た。会長たるもの、今後
の日口関係を考えたとき、
日口協会のあるべき
方向を相当強くリード
ないといけないなど思つ
たものですから。その責
任の重さを感じ、かなり
逡巡したのですが、最後
はお引き受けをしまし

1月19日、当財團理事で衆議院議員鳩山由紀夫氏が、日中協会会長に就任された。これまで副会長として積極的に活動してきた由紀夫氏は、祖父鳩山一郎元首相、父威一郎元外相に続き、三代にわたって日ソ日中交流に尽力されることになる。新会長として日中関係の展望を、事務局長中川治男氏がお聞きした。

講
衆
員
院
NPO
法
人
鳩
山
由
紀
夫
氏
聖
母
事
記

するかどうか、迷いまし
た。会長たるもの、今後
の日口関係を考えたと
き、日口協会のあるべき
方向を相当強くリードす
ること。会長たるもの、今後
の日口関係を考えたと
き、日口協会のあるべき
方向を相当強くリードす
ること。

中川：もちろん色々な
意味で、活動は簡単では
ないと思います。世代で
考え方も違うと思います。
考へ方も違うと思います。
私が学生時代です
が、ソ連から復員してきた
が、ソ連から復員してきた
復学された友人の体を
見ましたけれども、鞄に
任の重さを感じ、かなり
逡巡したのですが、最後
はお引き受けをしまし
た。その時は、ソ連と
間は、日本人の感情を
理解する力が一番の改
善点は必ずこうう因に

中川：この度、先生が三塚博長の後を継がれて日口協会の会長になられたそうで、おめでとうございます。鳩山：ありがとうございます。またお引き受けります。

が、お互いの国民の友好に役立っているというふうに考えて活動しなければいけませんからね。知つていただくことも、その大きな変化があつたのですよ。最初が、今おっしゃつた

よね。相互理解という葉は本当に大事だと聞きました。

鳩山由紀夫氏(左)と中川治男事務局長

日ソ協同宣言48年の歴史を振り返る

A black and white photograph of a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit and tie. He is holding a small glass in his right hand. The background is slightly blurred.

の話の中で「これが時代だ」と言つていま
した。そういつた方々に、当時の友愛青年同士が、既に社会の現役を退
いてしまった、あるいは亡くなつた方も沢山いま
す。時代の流れの早さを感じずにはいられません。
で特に、日本が侵略していったアジアに関しては敗戦ですべて失うことは、負けたのだから当然だと思います。しか
し北方四島の場合は、争が終わってから入つてきていますから、状況が違います。ですから、今
の状態をこのままにしておいては領土問題の解決にはならないと思いま
す。時間をかけてでも、四島問題は、日本に戻るまで、交渉を続けていかなければな
い。まずはシベリア抑留者の帰還問題こそが、非常に大事だと思ってから行くのだ。なぜなら、領土はそこであつて待つていいそれではないか、でも人の命はそうはいかない、ということです。その精神が、友愛精神の根幹にあると私は常に思っています。そのことを小泉首相に申し上げました。要は本腰入れて、体を張つて、拉致問題を解決をして欲しい、と心からも「返せ返せ」蓼科の話を聞きました。時間がかかるので、時間をかけて必ずやきこと返すのです。これが時代だ、とおっしゃるだけではなく、主張するだけではなく、

それならば返すのが正しいのだ」という理解をして貰える環境を作ることだと思っています。その意を思っています。その意を思っています。そのため、自分からも、日口協会の今後を考え、行動していくべきだと思います。

中川：お願いたしまして。これは、国対一国の問題で、大変だと思いますが、友愛精神で臨みます。ですが、友愛精神で臨むことはうれしいことであります。しかし、どうも現状の進展がないと、日本が世界に出ていく力が出なくなってしまう傾向があるようです。例えば北海道からヨーロッパ、ロシアがまさに隣りで、近い国ロシアとの文化交流が様々な形でやってきていたのです。こういったつながりがますます交流を深められることが良いですね。

鳩山：民間の交流を始めたので、祖父イコール友愛のように、ロシアとアフリカなど、世界中の人に喜んで貰える環境を作ることで、世界をより豊かにすることができると思います。

